

緑のまちあれこれ

- 北国分の桜は博物館駐車場がもっとも早い。道免き谷津は二、三日遅れ。今年は気温の低い日が間にはさまり満開までが延びた。5日には満開となり、早い樹は散り始めていた。里見公園や真間川の桜も4日の土曜日あたりがお花見の盛りだったろう。
- 3月29日に県知事選挙が行われたため、博物館恒例の縄文体験フェスティバルが急遽一週間繰り上がり3月22日に行われた。朝からあまりはつきりしない天候で昼ごろにわか雨があたりしたが、それでも縄文土器によるアサリ汁・縄文鍋や堀之内老人会の餅つき・ゆで卵、ボーイスカウトや法人会の焼きそば、フリーマーケットなどに人が集まり、午後から雨模様になって、2時に早めに終了した。
- 千葉県知事選挙 候補者は5人だったが、森田健作氏が投票数の半数以上を獲得して当選。森田氏は自民党なのだが、自民党県議連が選挙前に分裂し、党派を示せば票にさわりがあるので、無党派を力説した結果だった。
- 4月からの改正で、北国分駅前から市川駅行きのバス路線が、これまでの国分操車場～真間経由だけでなく、操車場からじゅんさい池～国立病院～国府台経由と2系統になった。しかし本数は増発されておらず、変わらないのが残念。
- かつて小塚山には、野生の萩やススキ、木瓜（ボケ）が生えていた。カブトムシやクワガタがいた頃、つぶらな瞳の山兔が家のすぐ近くまで出てきたこともあった。フクロウ・狸などを見たという人も何人かいる。いま公園になっている十字路の斜め向かいの角に、小塚山の地下水を湛えたかなり大きな沼があった。ザリガニやオタマジャクシが群れ、ウシガエルが吠えるようにうるさく鳴いていた。外環トンネル工事の重機や大型トラックの往来で、いまやそんな昔の風情はしのぶよしもなくなってしまった。

外環の土地収用事業認定公聴会

4月24日(金)、4月25日(土) 行徳文化ホール

首都圏道路問題交流会

5月30日(土) 1:30~4:30 市川公民館

■編集後記■ 今年も森の音楽会の季節を迎えます。小塚山のトンネル工事は予定よりもかなり遅れていますが、ともかく森の緑は守らなくてはなりません。鳥たちのためにも、というよりなによりも市川市民のために。北総線との交差工事等々、外環はまだまだなにかと問題点に事欠きません。



—北国分だより—

第89号 2009.4.20 発行



編集 北国分外環対策協議会
市川市北国分 2-29-12 越田方
Tel 047-372-8936
www.midorinomachi.net

森のコンサート

耳をすますと森の音が聞こえる



穴澤 雄介 (ヴァイオリン)

野田 正純 (ピアノ)

曲目

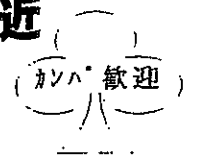
スペイン、リベルタンゴ、あの木に寄りかかって、未知なる世界へ飛び立とう、ほか

オープニング

アンクルンの会 緑のまち合唱団

2009年5月10日(日) 12:30~15:00

小塚山市民の森 あずまや付近



主催：森の音楽会実行委員会

連絡先：星野 TEL 047-336-1735

小塚山にながれるヴァイオリンのしらべ

近づく第16回 森の音楽会

実行委員長 星野 亘 良

市川でもサクラが開花しました。春の訪れとともに、また小塚山森の音楽会が近づいてきました。第16回の今年のメインプログラムは、ヴァイオリン（穴澤雄介さん）とピアノ（野田正純さん）です。5月10日（日）の午後12時30分から3時まで、小塚山のあずまや前広場での音楽会です。

「そのけ そのけ 道路が通る」という、いかにも開発優先の二十世紀の遺物のような外環道路の工事が小塚山でも行われていますが、あずまや前の広場はまだ健在です。市川市内でも指折りのこの美しい森がいつまでも残ってほしい……それが第1回からの実行委員長をつとめてきた故三宅佳子さんの願いでしたが、今年も、小塚山で音楽会を開けることを三宅さんも天国で喜んでいることと確信しています。この日は奇しくも三宅さんの二年目のご命日にあたりますので、なおさらその思いを強くしています。

いま温暖化の影響か、季節が狂ってしまっていますが、今年もエゴの白い花の下での音楽会になることでしょう。小塚山の新緑の中で、風の音や小鳥のさえずりとともに聴く音楽……それは音楽は音楽ホールで、という既成概念をかるがると吹き飛ばしてしまうほど素敵です。音楽の本当の喜び、楽しさがそこにあると判らせてくれます。

メインプログラムの、ロック・ジャズ・ラテン音楽・現代音楽などさまざまなジャンルの音楽の演奏や作曲で活躍されている穴澤さんのヴァイオリンの美しい音色は、野田さんのピアノと相まって私たちを夢の世界に誘ってくれることでしょう。

地元のサークル、アンクルンの会・緑のまち合唱団も張り切っています。

今年も楽しい音楽会になりそうです。5月10日、小塚山でお会いしましょう。

(2009年3月29日 記)

第10回公害調停

5月14日（木）千葉市で開かれます。

なお第9回公害調停は、1月29日（木）千葉市で開かれ、住民21名が参加しました。



「森よ とわに」

竹内 照子

いまここにあるものは

未来へとつながる

とわに とわに森よ

二年前、昇天された三宅佳子さんは長年に亘り小塚山の存続のために力を注がれていた。深い愛情で小塚山の木々の緑、小鳥達を守るため「森よ とわに」と、作詩作曲をされた。

今年の《森の音楽会》は、5月10日、奇しくも三宅さんの御命日に当たり、透明な優しいその歌声は、今年もまた小塚山を満たしてくれることでしょう。

心から、この緑・森が、とわに、とわにすこやかであることを願います。



歌の玉手箱

稲見 由美

大捕り物。林の中、小さい子供達は声を上げ、手を叩き、勢子となって輪を縮めます。高学年の子供達は大人と一緒に網を持って追い詰めて……。やっと捕まえたのは逃げ遅れた赤ちゃん兎だけ。畑を荒らす野兎なんてそう簡単には人の手に落ちませんでした。そんな「兎追いし」思い出です。子供会総出で、兎を追った神社裏の雑木林も宅地になりました。

さて、春。学び舎を巣立つ姿、新しい門をくぐる姿の微笑ましい季節に思います。華やかではないけれど、誰も傷つけることがないこの歌を第二国歌にしては……と。祝いの場である式場で頑なに国歌斉唱を拒むより、それぞれの心の故郷を投影した温かい気持ちで声を合わせるのも良いかもしれません。

♪ 如何に在ます 父母

恙なしや 友がき

雨に風につけても

思い出ずる 故郷

「故郷」 作詞／高野辰之



造れない 採算無視の高速道

道路公団から民営化（といっても社長は国土交通省からの天下り）された東日本高速道路会社の2020年までの借入れによる事業費が1兆3,991億円で、412kmの高速道路を建設することになっているのに対して、千葉外環（三郷インターから市川高谷ジャンクション間20km）の建設事業費が1兆95億円（松戸～高谷間は7,571億7,600万円）とされています。東京外環の練馬から世田谷までの16kmの予算は1兆6,000億円とされています。東京都は大深度地下の工法で用地買収費がかからないのに対して、工事費は普通の建設費の数倍はかかるでしょうから、市川外環にこのような経費がかかるのは土地買収に市川の市街中心地を通すためだと考えられます。しかし国と東日本高速道路会社は2月10日に外環道の土地収用事業認定を国土交通省に申請しました。いつ出来るかわからない道路のため、いざという時に、公共性を理由に用地取得を強制執行するための布石です。

*

3月13日、東日本高速道路会社の担当する道路に関する事業再評価監視委員会の席で、外環の高速専用部分（東関道三郷インターから東京外環高谷ジャンクション間）建設の便益と費用の比（B/C）が1.0であると報告されました。道路建設における費用とは、用地買収費や建設事業費と建設後の維持管理費で、便益とは道路ができたことによる時間短縮による費用や交通事故減少などを一定の方式で金額に換算したもので、道路建設による便益が費用を上回らなければ道路の建設は不必要となります。昨年の国会で当時の冬柴国土交通大臣は、B/Cが1.2以上でなければ道路は造れないと答弁しております。市川外環は歴史・自然環境の破壊、大気汚染、騒音・振動など沿線住民の健康・生命を考えれば、B/Cは0.8でも高いくらいです。施政者は国民の文化的な生活を保障する憲法をどのように捉えているのでしょうか。

国土交通省のPR紙「みどりの道」3月号が新聞折込みで入ってきた。外環千葉区間の進行状況が報告されていて、特に田尻・高谷地区の現状が大きく写真入で示されている。もちろん小塚山トンネルの記事もあるが具体的ではない。小塚山トンネルの工期が大幅に伸びていることや北総線交差部についての完成目標などは示されていない。

注目すべきは、アンケートを載せていて、「外環に期待するもの」に、渋滞解消41.6%、交通事故率の低下12.7%、みどりの豊かな空間創出11.9%との回答を得たとある。このアンケートは外環整備促進市川・松戸市民会議と国土交通省・東日本高速道路会社千葉工事事務所によるもので、しかも市川市在住49.4%、松戸市在住34.5%の4512名によるとある。地域住民が83.9%（16.1%がよそ者）の結果で、この数字がなにを示そうとしているのか、あまりにもお粗末な意図によるものではないかと呆れるばかりである。

北国分の道 市川の道（5）

西畑 健一

市川は、明治27年に総武鉄道（現、総武線）の市川駅が開設され、のちに延伸される船橋、千葉、佐倉とともに房総への交通の要衝として位置づけられた。ちなみに八幡駅の開設は昭和10年で、大幅に遅れている。これは明治18年、国府台に下士官養成機関としての陸軍教導団が設立され、佐倉に置かれていた第1師団57連隊や東京湾口の館山・木更津などの要塞地帯とともに高まった軍事的必要性が大きく関わっている。

*

江戸時代から成田・佐倉道として、千葉街道（現、国道14号）が、江戸から一泊ないし二泊の行楽を兼ねた参詣道として賑わっていた。もっとも成田道は、江戸から水路で小名木川を経て行徳に至り八幡、中山法華経寺を経て成田に至るのが一般的な道筋だった。明治以後は、市川は陸軍教導団のあと野砲16連隊のほか陸軍病院、憲兵隊が置かれ、最も帝都に近い軍事拠点として重要視された。江戸期から市川・小岩の関所があった少し下流に架けられた木橋の市川橋は工兵隊によるという伝えもある。現在、江戸川に架かる市川橋は上下専用道路が同じ造りの珍しいダブル橋で、総武線の鉄橋、京成電鉄の鉄橋と並行して架かっている。中世以後、真間から中山にかけては、白砂青松の海岸で、砂地に生えていた黒松が今も町並みの中に残っている。中世の連歌師宗長の紀行文「東路の津登」にこの地を通過したことが記されており、芭蕉や一茶などの俳人も、伊藤左千夫や白秋、荷風も、松林の風情を愛でている。

少なくとも7000年以前の縄文時代から、現在に至るまで、市川はつねに陸上、海上、水上交通の要衝として人々が往来し続けていたことだけは、それぞれの時代の遺跡と記録が確実に示してくれている。

（了） 2009.3.19

一周年を迎える こうのだい九条の会

5月3日の憲法記念日が近づいています。地域の人たちのねがいを込めて結成された「こうのだい九条の会」は、一周年目の集会を、5月17日（日）13時30分から中国分の西部公民館で開催します。弁護士の内藤功さんをお呼びして、ソマリアの自衛隊派遣、北朝鮮のテポドン発射に伴う落下物の撃破体勢の配備、そしてその先には何があるのか。憲法九条に照らし具体的に話しをしていただきます。また、九条落語の「生き字引」で楽しんでいただけます。

緑さわやかな5月に憲法九条のすばらしさと、平和への願いをつなげ語り合しましょう。

松林

早春の花 アマナ

谷口 浩之

弥生3月に入ると、もう愛しい人に会うように胸がワクワクし、落ち着きがなくなります。1年ぶりに会うアマナ、シュンランが無事咲いたかどうか、温かい晴れの日を選んで足を運びます。「あー まだだ」「あっ シュンランの花芽だ。もう少し」。

アマナは、スイセンに似た2本の葉を出し、白地に暗紫色のすじのある花を晴れた日に咲かせます。夏にはこの葉は枯れて見えなくなります。

「あっ 咲いた」。足下には枯れ葉の間から草丈10センチほどのチューリップに似た小さな白い花が、あたり一面に咲いています。小さく地味なので、気をつけて見ないと見過ごしてしまいます。咲いている時期は短く、勤めている時には1週間後に行ってみると、もう撮影できないということが何年もありました。

市川ではあまり見かけません。千葉県でも少なくなったようで、要保護生物に指定されています。こんなきれいなアマナが、私たちの「緑のまち」にあるなんて、すてきなことです。心は解放され気持ちよく雑木林を下りてきた日の夕方、編集部の竹内さんからこの原稿を頼まれました。



訂正 前号「たきび」の歌で ♪……さいたころ は、さいたまち です。

狐と狸の皮算用

K. N 生

一旦約束したことを守れないような人は、世間一般から言えば確実に信用を失墜する。それが公的機関であればどうなるのか。政治とは、ともかくうまくできているもので、約束そのものの改正法案を議会に提出し、多数決と称する議員数による決議で可決する。行政機関の公務員は法律でしか動けないから、その決議は新しい約束事として罷り通って実施されることになる。それを繰り返してゆくことで権力を保持し、その権限は与党の政治家だけが握っている。成熟した資本主義社会の、間接民主主義とはこういう仕組みになっている。国民が国会議員を選んでいるのだから、与党や内閣の支持率が下がろうがどうだろうが、国会の解散権を掌握する総理大臣の恣意的な決断なしに解散はない。だから衆議院議員の任期切れまで、野党も与党も政党の後援会も、自己保身の行く末を左右する総理の解散権行使を固唾を呑んで見守り続け、取らぬ狸の皮算用だけに追われている。

探鳥会

日時：平成21年2月15日（日）

天候：小曇り

参加者：石居 石居 漆原 小口原 小口原 小沢 川上 川上 越田 笹子
佐々木 鈴木 鈴木 田口 夏目 三好 村岡 17人

確認された鳥：

カワウ カルガモ トモエガモ ヒドリガモ オナガカモ
ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ キジバト
コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ トラツグミ ウグイス
エナガ シジュウカラ メジロ カワラヒワ シメ
ハシボソガラス ハシブトガラス

計21種

コメント：小塚山で久しぶりにトラツグミが出ました。しかし残念ながらよく見られたのは二人でした。じゅんさい池公園の梅林では、メジロ、エナガがよく見られ、ウグイスもその姿を全員で見ることができました。

1009.2.15

次回 平成21年4月29日（祝）

小塚山あずまや 10時集合（雨天中止）

案内人 村岡幸生さん（日本野鳥の会会員）

バードウォッチングに参加して

越田 常義

私にとって「雑木林の小塚山」という言葉が大いなる自然と響いてくるのです。

木々たちの育くみ、鳥たちの集い、囀り、地上、地下の生きものたちのハーモニーの合作で造られていた自然。その一部が一つ一つ取り上げられていく様で、切なく思う今日此の頃でした。お蔭様で癒しを得ることが出来たと感じた日でございます。

今日の案内をして頂いた村岡さん、参加して下さった皆様方に感謝申し上げます。

